

令和 7 年安曇野市議会
6 月定例会 3 日目（6 月18日）

計16人

月日・開議時刻	発言順	発 言 者	通告時間
【1 日目】 6 月16日（月曜日） 午前10時	1	大 竹 啓 正	30分
	2	一 志 信一郎	20分
	3	辻 谷 洋 一	25分
	4	竹 内 秀太郎	20分
	5	中 村 今朝子	30分
	6	井 出 勝 正	20分
6 人			
【2 日目】 6 月17日（火曜日） 午前10時	7	岡 村 典 明	20分
	8	内 川 集 雄	20分
	9	矢 澤 毅 彦	25分
	10	中 村 芳 朗	20分
	11	猪 狩 久美子	20分
5 人			
【3 日目】 6 月18日（水曜日） 午前10時	12	臼 井 泰 彦	20分
	13	増 田 望三郎	20分
	14	林 孝 彦	20分
	15	増 井 裕 壽	20分
	16	小 林 純 子	20分
5 人			

提出順	13	発言順	12	令和 7 年 6 月 4 日
				(午前) 午後 9 時 34 分受領

(2 枚中No.1)

2025年 6月 4日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☒ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	生産者米価の保障と消費者米価の安定に向けて		
質問の要旨（具体的に記載してください） 1 昨年来の米の価格高騰は、「需要に応じた生産」で需給ぎりぎりに減反を押し付け、供給に余裕のないことと、米価を市場任せにしてきたことが原因である。農業の中核が米作りの安曇野市でもこの政策の下で、担い手の急減、高齢化、後継者への経営移譲ができない状況がある。政府には、コメ不足を認めさせ、農家への価格保証・所得保障とコメの価格への市場介入、無関税のミニマムアクセス米の見直しを要求すべきではないか。そうしてこそ、米農家は将来への希望を持って生産を続けることができ、余裕ある備蓄量も確保できるとともに、消費者も高いコメに悩まなくて済み、安曇野の田園景観も保たれると考える。米の価格高騰の原因、今後の対策について見解は。 2 安曇野市では耕作面積は大きく変わっていないが、法人や認定農業者、個人農家などの経営体数が2020年までの10年間で3分の2に減少しているため、1経営体当たりの平均耕作面積は大きく増加している。そして、経営体の経営規模の拡大意向は、どの経営体でも半数が現状維持で、法人や認定農業者がほとんどである。今後も特に経営体数の急激な減少や農業をやめたい法人もある中で、耕作放棄地を増やさないためには、現状では経営規模の拡大は法人や認定農業者が担うことになる。第3次安曇野市農業・農村振興基本計画では、「農地が集積され活用されてきたものの、今後は、担い手のキャパシティを越えた農地が空いてくる可能性があり、計画的な対応が求められる」と危機的な状況を予想している。 (1) 危機的な状況に対する認識は。 (2) 市内では、畦草が刈られず景観が損なわれる事態が急激に進み、個人農家の減少で農村は崩壊過程にある。危機回避の対策とその効果、課題は。 (3) 特別栽培米など米の安曇野ブランドの販売状況と課題は。			

提出順	13	発言順	12	令和 7 年 6 月 4 日
				(午前・午後 9 時 34 分受領)

(2 枚中No.2)

2025年 6月 4日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 白 井 泰 彦

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☒ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	保育・幼児教育の充実に向けて		
質問の要旨(具体的に記載してください) 1 市立認定こども園と幼稚園の今年度のクラス担任のうち正規職員と会計年度任用職員のそれぞれの人数、また全クラス数とそのうちクラス担任が正規職員のクラス数と会計年度職員のクラス数、さらに 5 年前の各人数およびクラス数を伺う。 2 安曇野市の第 1 次教育振興基本計画、こども計画および第3次子ども・子育て支援事業計画では、いずれも「教育・保育」の目標、施策に「保育士・幼稚園教諭の専門性の向上。保育士の処遇改善」が挙げられている。このために最も優先すべきことは、会計年度任用職員の正規職員化であり、全産業平均と比べて低い賃金の引き上げであり、配置基準の引き上げである。保育士不足を解消するためにも、計画的な会計年度任用職員の正規職員化、賃上げ、配置基準の引き上げをすべきではないか。 3 堀金認定こども園などで、例年年度当初の保育ボランティアを受け入れている。その目的と効果を伺う。 4 保育ボランティアのうち、子どもの安全の見守りや生活ルールの定着など、担任保育士の目が行き届かない子どもへの支援において果たしている役割をどう考えているか。 5 保育ボランティアに代わる保育士や支援員をきちんと位置付けるべきではないか。			

提出順	9	発言順	13	令和 7 年 6 月 2 日
				午前・午後 10 時 50 分受領

(2枚中No. 1)

令和 7 年 6 月 2 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☒ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☒ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	選択と集中が問われる安曇野市政 ～公共施設再配置と財政の展望～		
質問の要旨（具体的に記載してください） 合併特例債事業が令和 7 年度末で終了となる。市は発行限度額 494 億 7800 万円まで活用し、市庁舎、総合体育館、クリーンセンターなどの大規模施設、更に旧町村ごとの交流学习センターなど様々な公共施設を整備してきた。限度額まで発行して整備してきたことが、市の公共施設再配置計画や財政運営にどのような影響を及ぼすのか質問する。 果たして、財政の現状を踏まえた上で、これからの安曇野市はどのような市政運営を選び取っていかなければならないのか。 1. 公共施設再配置計画の進捗状況について ・再配置計画は当初の予定通り進んでいるのか。進んでいない場合は、その主な要因は何か。 ・教育施設など、縮減が難しい分野における再配置の進捗状況はどうか。また、それに対する具体的な方針や計画はあるのか。 ・こども園、幼稚園の統廃合を行わず、明北小学校のような小規模校も存続している理由は何か。それらの施設整備に関する基本的な考え方を問う。			

提出順	9	発言順	13	令和 7 年 6 月 2 日
				午前・午後 10 時 50 分受領

(2枚中No.2)

令和 7 年 6 月 2 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 増 田 望三郎

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	■一問一答 □一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	■市 長 □副市長 ■教育長 □他 ()		
	担当部長 ■総務部 □政策部 □市民生活部 □福祉部 □保健医療部 □農林部 □商工観光スポーツ部 □都市建設部 □危機管理監 □上下水道部 ■教育部 □他 ()		
質問事項	選択と集中が問われる安曇野市政 ～公共施設再配置と財政の展望～		
2, 財政的観点から、今後どのような市政運営をしていかなければならないか。 ・合併特例債を限度額まで発行したことにより、将来の公債費はどのように推移するのか。 ・基金残高の現状と将来の見通しから見て、市の財政運営にはどのような課題があると考えるか。 ・今後の公共施設の再配置（新規整備、更新、統廃合）の見通しは。とりわけ教育施設の削減計画を視野に入れる必要があるのではないか。 ・財政的制約が続く中で、ソフト事業（福祉、子育て、文化など）への影響は避けられるのか。 ・将来の歳出ニーズに応えるためには、歳入の確保も不可欠である。市として、歳入を増やすための具体的な戦略や取り組みはあるのか。 ・財政的観点からの今後の市政運営。市民へのメッセージを。			

提出順	15	発言順	14	令和 7 年 6 月 4 日
				午前・午後 10 時 55 分受領

(3 枚中 № 1)

令和 7 年 6 月 4 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員

林

孝 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	■一問一答 □一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	■市 長 □副市長 ■教育長 □他 () 担当部長 □総務部 □政策部 □市民生活部 ■福祉部 □保健医療部 □農林部 □商工観光スポーツ部 ■都市建設部 □危機管理監 □上下水道部 ■教育部 □他 ()		
質問事項	子ども・子育て支援の強化について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 1 子ども・子育て支援の強化の目標と取り組みはどうでしょうか。 2 こども計画、子ども・子育て支援事業計画、教育振興基本計画に基づき実効性のある施策を要望しますが、現状と今後の取り組みはどうでしょうか。 3 児童クラブと分室での受け入れ拡大と祖父母がいる場合も対象化を要望しますが、現状と今後の取り組みはどうでしょうか。 4 市内の児童遊園や公園の遊具の適切な管理とインクルーシブ遊具の設置を要望しますが、現状と今後の取り組みはどうでしょうか。 5 障害児通所支援の強化を要望しますが、現状と今後の取り組みはどうでしょうか。 6 医療的ケア児への支援の強化を要望しますが、現状と今後の取り組みはどうでしょうか。			

提出順	15	発言順	14	令和7年6月4日
				午前・午後 10時55分受領

(3枚中№2)

令和7年6月4日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員

林

孝 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和7年安曇野市議会 6月定例会		
発言の方法	■一問一答 □一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	■市長 □副市長 □教育長 □他 ()		
	担当部長 □総務部 □政策部 □市民生活部 ■福祉部 □保健医療部 □農林部 □商工観光スポーツ部 □都市建設部 □危機管理監 □上下水道部 □教育部 □他 ()		
質問事項	障がい者への支援の強化について		
質問の要旨（具体的に記載してください） 1 障がい者への支援の強化の目標と取り組みはどうでしょうか。 2 手話言語条例の策定を見据えた聴覚障がい者への支援内容の充実を要望しますが、現状と今後の取り組みはどうでしょうか。 3 福祉医療費給付事業の向上と精神障がい者の入院補助を要望しますが、現状と今後の取り組みはどうでしょうか。			

提出順	15	発言順	14	令和 7 年 6 月 4 日
				午前・午後 10 時 55 分受領

(3 枚中 № 3)

令和 7 年 6 月 4 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員

林

孝

彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	■一問一答 □一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	■市 長 □副市長 □教育長 □他 ()		
	担当部長 □総務部 □政策部 □市民生活部 ■福祉部 □保健医療部 □農林部 □商工観光スポーツ部 □都市建設部 □危機管理監 □上下水道部 □教育部 □他 ()		
質問事項	高齢者支援の強化について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 1 高齢者支援の強化の目標と取り組みはどうでしょうか。 2 フレイル予防支援、サロン活動支援、学びの場の創造、豊科老人福祉センターを含む 高齢者福祉関連施設などの整備を要望しますが、現状と今後の取り組みはどうしょう か。			

提出順	8	発言順	15	令和 7 年 5 月 30 日
				午前・午後 2 時 05 分受領

(4 枚中No. 1)

令和 7 年 5 月 3 0 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	2 0 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☒ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☒ 商工観光スポーツ部 ☒ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	自転車等の放置防止について		
質問の要旨（具体的に記載してください） 自転車等の放置防止について、以下の質問をする。 ・ 放置自転車の現状と課題について ・ 自転車の 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進について ・ 景観と調和した駐輪場整備による放置自転車の抑止について ・ 自転車等の放置防止に関する条例制定について ・ 「みんなが嬉しくなる駅前整備」のグランドデザインについて			

提出順	8	発言順	15	令和 7 年 5 月 30 日
				午前・ 午 後 2 時 05 分受領

(4 枚中No. 2)

令和 7 年 5 月 3 0 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	2 0 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☒ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	「フードリボンプロジェクト」の導入について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

子どもの貧困対策について、以下の質問をする。

- ・子どもの貧困対策の現状と課題は
- ・「フードリボンプロジェクト」の導入について

提出順	8	発言順	15	令和 7 年 5 月 30 日
				午前・午後 2 時 05 分受領

(4 枚中No. 3)

令和 7 年 5 月 3 0 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	2 0 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☒ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	除雪と融雪業務について		
質問の要旨（具体的に記載してください） 除雪と融雪業務について、以下の質問をする。 ・ 除雪・融雪業務の現状と課題について ・ 除雪・融雪体制の担い手確保について			

提出順	8	発言順	15	令和 7 年 5 月 30 日
				午前・午後 2 時 15 分受領

(4 枚中No.4)

令和 7 年 5 月 3 0 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 増 井 裕 壽

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	2 0 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	君という このまちが好きだから 10月1日は 安曇野の日		
質問の要旨（具体的に記載してください） より地域に愛される街になることを願って10月1日を「安曇野の日」として記念日制定することについて、以下の質問をする。 ・合併20周年を契機に、安曇野市民が郷土への愛着を育み、安曇野の魅力を内外に発信する象徴として、合併記念日である10月1日を「安曇野の日」として制定するための研究と具体的な検討に着手できないか？			

提出順	16	発言順	16	令和 7 年 6 月 4 日
				午前 午後 11 時 3 分受領

(/ 枚中No. /)

令和 7 年 6 月 4 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 小 林 純 子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 7 年安曇野市議会 6 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者 又は答弁担当部署	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☒ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	生活保護者数が減り続ける安曇野市 生活保護制度の運用に課題はないか		
質問の要旨（具体的に記載してください） 安曇野市の生活保護率はここ十数年間減少し続けている。生活保護情報グループの調査による「生活保護率増減マップ」によると、2012 年～2021 年の 10 年間に於ける、本市の生活保護者数の増減率はマイナス 40.3%。ちなみに、安曇野市における生活保護者数のピークであった 2013 年から 2025 年 1 月までのデータで計算すると、増減率はさらにマイナスとなっている。 本市の生活保護者数が減少に転じた理由としては、福祉部長より「公共職業安定所やハローワーク等と連携して継続した就労支援を行ってきた結果であり、2015 年度からは「まいさば安曇野」を設置して、相談支援体制が整備されたことも要因ではないか」との答弁があったが、生活困窮者自立支援法による「生活就労支援センター『まいさば』制度」は全国で取り組まれているので、それが本市の生活保護者の減少に貢献したとは言い切れないのではないかと考える。 本市において生活保護者が減少してきた背景に、何か課題や問題がありはしないか、生活保護行政のあり方について検証する必要があると考え、以下に質問する。 1、 減少率が 40%を超えた自治体は全国の 9 府県の 12 市区のみで、ここに安曇野市も入っているが、これをどう受け止め評価しているか。 2、 厚労省では「保護の実施機関における生活保護業務の実施方針」の策定をするようにと指導しているが、安曇野市では策定しているか。 3、 減少率が 40%を超えていることに、安曇野市の生活保護制度の運用上の課題があると考えられるが、どうか。			